

人気の紀州鉄道グッズ常設展示

リニューアルで設備・備品も充実

御坊寺内町会館

御坊商工会議所が御坊の魅力・情報発信拠点として平成28年10月に中町2丁目商店街に開設した「御坊寺内町会館」―御坊206―が、26日からリニューアルした。展示物は3月下旬まで「会津藩士の戊辰戦争」紀州(御坊)の人々に助け

られた会津藩士のパネル展を開いているほか、以前展示して人気のあった紀州鉄道関連グッズを常設展示にした。DVD観賞やミニ講演会、休憩スペース、打ち合わせなどに使う壁掛けテレビや椅子など設備・備品も充実させた。



常設の「紀州鉄道コーナー」などリニューアル

メイン展示物は、幕末の鳥羽伏見の戦いで敗れ、紀州に落ち延びて御坊市湯川町小松原の中吉旅館で命を救われ、同旅館主人の中野吉右衛門と交流を続けた会津藩士・山川浩の縁がきっかけとなった御坊市と会津若松市との交流事業で、会津若松市から借り受けた戊辰戦争に関するパネル10枚展示。また、市の有形文化財に指定された初代内閣総理大臣・伊藤博文の書のレ

プリカ、往生寺―湯川町財部―が所蔵する会津藩士の書のレプリカも展示。4月以降は統編として仮称「助け合いの精神 紀州和歌山、御坊から」と題して山川浩のほか、日高町のクヌッセン機関長、串本町のエルトゥール号、広川町の「稲むらの火」など人情に富み温かく助け合いの精神を持つ紀州、御坊人の気質を象徴した逸話や歴史に残る助け合いの史実に関する写真パネルや資料などを順次展示する。

紀州鉄道は2年前に企画特集展示を行い、鉄道ファンらから人気を集め、同社鉄道事業部の協力で26日から常設展示。フォトコンテストの作品や記念オリジナルグッズ、のぼり、車両部品等を展示しているほか、今後、動くミニチュア鉄道模型も展示する。従来からある和田勇資料館、御坊の偉人コーナー、宮子姫や有間皇子コーナー、学校教育・地域振興コーナーなども随時写真や資料を入れ替えたり、追加しながら充実を図る。

設備・備品関連では市のGO!GOBOプロジェクト事業・拠点施設活用の一環で国の地方創生交付金の一部約100万を使い、壁掛け大型テレビ、会議用長いす、軽量椅子、ホワイトボード、大型パネルなどを購入。テレビや御坊祭や和田勇氏など御坊をPRするDVD観賞に使用でき、机や椅子は打ち合わせ会議、30人規模のミニ講演会、展示物に関する説明会、休憩スペースとして活用する。オープン以来、観光客や地域住民、児童生徒ら6500人以上が来館。塩路泰弘御坊商工会議所専務、片山隆館長は「今後も御坊市の魅力を、より一層身近なものと感じていただけるような、地元の方々に寄り添った会館運営に心掛けた」と話している。開館日は毎週火・金・土・日曜日と祝日。開館時間は午前11時から午後4時まで。